

平成 20 年 5 月 21 日

各 位

会社名 株式会社 トップカルチャー  
代表者名 代表取締役社長 清水 秀雄  
(コード番号7640・東証 第1部)  
問合せ先 取締役副社長 宮原 務  
兼 総務部長  
T E L 025-232-0008  
<http://www.topculture.co.jp>

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 12 月 5 日の決算発表時に公表した平成 20 年 10 月期（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 10 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、通期業績予想については、変更ありません。

### 記

1. 平成 20 年 10 月期 中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日）  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,000	698	757	440
今回修正予想(B)	15,255	374	401	208
増減額(B-A)	△745	△324	△356	△232
増減率(%)	△4.7%	△46.4%	△47.0%	△52.7%
(ご参考) 前期実績(平成19年10月期中間)	14,794	675	705	375

2. 平成 20 年 10 月期 中間個別業績予想数値の修正（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日）  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,500	709	769	434
今回修正予想(B)	14,687	350	421	230
増減額(B-A)	△813	△359	△348	△204
増減率(%)	△5.2%	△50.6%	△45.3%	△47.0%
(ご参考) 前期実績(平成19年10月期中間)	14,235	663	701	376

### 3. 業績予想の修正理由

当社グループの主軸である蔦屋書店部門において、売上、利益ともに予想を下回りました。売上高については、既存店売上高が前年比 99.3%と前年並みに留まったことにより、予想を下回りました。利益面については、上記のとおり売上高が当初見込を下回ったこと、また上半期を通じてレンタルの品揃え強化を目的に邦画・アニメを中心に仕入を戦略的に拡大したことによるものであります。

このような状況から、平成 19 年 12 月 5 日の決算発表時に公表した平成 20 年 10 月期の間接業績予想を連結・単体ともに修正いたします。

### 4. 通期業績見通し

(1) 通期業績予想については変更ありません。

(2) 理由

① 当社の主要部門である書籍売上が好調で業績を下支えすることが見込まれます。

② 上期にレンタルの仕入を拡大した効果が見込まれます。

③ 4月中旬より7月中旬までのキャンペーン企画として、全店舗で「創業20周年大感謝祭」を実施しております。4月度はこのキャンペーンが奏功し、既存店前年比 105.6%と好調に推移いたしました。この好調が第3四半期以降においても続くことが見込まれます。

### 5. ご参考：平成 20 年 10 月期 通期連結業績予想数値（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 10 月 31 日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	31,000	1,178	1,300	747
今回修正予想(B)	31,000	1,178	1,300	747
増減額(B-A)	0	0	0	0
増減率(%)	0	0	0	0

### 6. ご参考：平成 20 年 10 月期 通期個別業績予想数値（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 10 月 31 日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	30,000	1,187	1,310	740
今回修正予想(B)	30,000	1,187	1,310	740
増減額(B-A)	0	0	0	0
増減率(%)	0	0	0	0

以上